

## 第3章 地区別計画（地区ハートプラン）

### 1 地区別計画（地区ハートプラン）とは

自分たちのまちを「こんなまちにしたい」という、地域にお住まいの皆様の思いを形にするための計画です。

地域には、地域ごとの特徴があります。また、課題と感ずることも地域によってそれぞれに異なります。第4期計画の基本理念を土台にして、地域の実情に沿った計画を区内18の連合町内会自治会・地区社会福祉協議会エリアごとに策定し、それぞれの生活課題にきめ細かく対応していきます。

### 2 計画の策定・推進にあたって

#### 地区別計画策定・推進委員会（策定・推進組織）

地区別計画（地区ハートプラン）の策定・推進にあたっては、連合町内会自治会・地区社会福祉協議会をはじめとした、地域の福祉保健活動に取り組む団体や関係機関の代表者を中心とした組織を構成しています。

構成する団体の活動や把握している地域状況をもとに、計画を策定します。策定後は、取組の進捗を振り返りながら今後の活動につなげていくことで、生活により身近な地域での活動を充実させていきます。

#### 地域連携チーム

戸塚区では、地域の活動や取組について、地域の皆様と連携を図りながら進めていくために、区役所、区社協、地域ケアプラザの職員で構成する「地域連携チーム」を、18地区ごとに結成しています。

チームメンバーが、日常業務の中で把握した地域の情報や課題などを共有し、解決策等を専門的な視点で検討することで、地域の皆様の“応援団”として、地区ハートプランの推進に向けた活動を後押ししていきます。

地域で困っている人を  
「手助けしたい」  
と考えている人  
約85%

（令和元年区民意識調査結果より）



地区ハートプラン



地域にはた〜くさん  
あったかい気持ちがあるんだね  
みんなの思いを形にしよう！





- |    |       |  |
|----|-------|--|
| 1  | 戸塚第一  | 笑顔であいさつ ふれあいのまち                            |
| 2  | 戸塚第二  | 強い絆のまちづくり                                  |
| 3  | 戸塚第三  | 心つながる ふれあいのまち                              |
| 4  | 踊場    | 安心して暮らせるまち・踊場                              |
| 5  | 北汲沢   | みんなの手 人にやさしい きたぐみのまち                       |
| 6  | 舞岡    | 日頃の声かけ 地域の安心                               |
| 7  | 川上    | みんなでそなえ、育み、支え合うまち                          |
| 8  | 柏尾    | かたいきずなど、しんらいで、おたがい仲良く地域の「わ」                |
| 9  | 東戸塚   | みんなが気持ちよく、安心して暮らせるまちを、みんなの力で               |
| 10 | 平戸    | 心の かよいあうまち 平戸                              |
| 11 | 平戸平和台 | 近くの人が近くの人を助ける『近助の絆』を確かなものに                 |
| 12 | 上矢部   | ①か おのみえる ②みんなに ③やさしい ④ベストなまち               |
| 13 | 名瀬    | 安心・安全、福祉のまち♥名瀬                             |
| 14 | 大正    | 「ありがとう」「お互いさま」と笑顔で挨拶、見守り、助け・支え合える、やさしいまち大正 |
| 15 | 汲沢    | 笑顔でつながる 緑豊かな「ぐみさわ」                         |
| 16 | 上倉田   | あいさつと笑顔がつながる上倉田                            |
| 17 | 下倉田   | 思いやり 助け合うまち 下倉田                            |
| 18 | 吉田矢部  | 笑顔と挨拶で紡ぐ安心のまち 吉田矢部                         |

# 1 戸塚第一地区

## 笑顔であいさつ ふれあいのまち

振り返り 第3期計画で戸塚第一地区が取り組んできたこと

### 主な活動と取組

#### ■ ふれあい交流サロン、地域食堂の増設

\*多世代が集う交流の場が広がる



子育てサロンの「ハムちゃんずの会」、高齢者対象の新沢池ほっとサロン、フレンズひまわり、うっかりほっとクラブ、サロンかいどう、ふれあいカフェザンを開催しています。

\*みんなの食堂スマイルの開設準備

子どもから高齢者までの多世代が集える多世代食堂を立ち上げました。



#### ■ 民生委員による見守り活動

民生委員を中心に一人暮らし高齢者等への見守り活動をしています。



#### ■ あんしんカードの配布

「みんなのあんしんカード」を全世帯へ、また戸塚第一地区独自で作成した「私のあんしんカード」を一人暮らし高齢者の方へ配布し、いざという時に備えています。



■ 民生委員児童委員協議会で作成し配布

#### ■ 推進委員会で行ったこと

- ハートプランのPR
- ハートプラン関係団体による団体交流会(こころんネット)の開催
- 地域の送迎バス等の実態調査
- 認知症フォーラムへの参加促進



■ 「のぼり旗」を学校や施設などで掲示



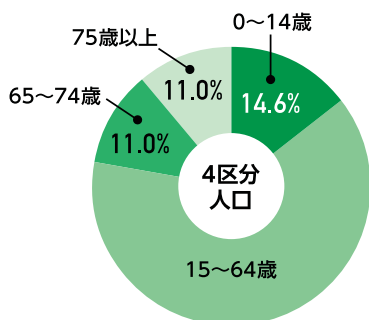
■ ハートプランPR用チラシを作成し地区内全世帯に配布

■ 子育て、高齢者、障害者支援などの団体間の情報交換を行う「こころんネット」を開催

data

### 戸塚第一地区の現況

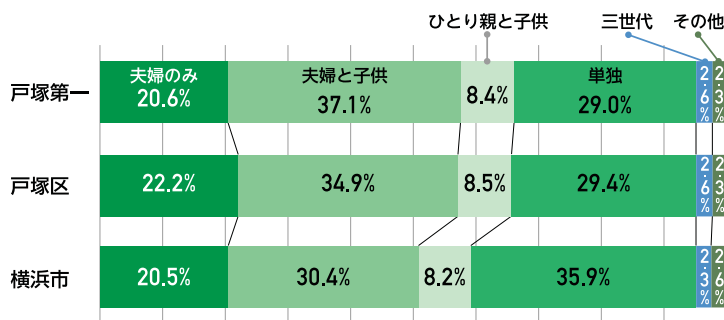
#### 年齢4区分別人口割合



戸塚第一地区総人口 30,143人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）



## 第4期の目標

あなたもハートプランへの第一歩。  
 まずは「笑顔であいさつ」から始めてみましょう。  
 そして、みんなで目標に取り組み、  
 「ふれあいのまち」を目指しましょう。

### 目標1 見守り・支えあいのあるまちづくり

#### 【具体的な取組】

- 見守り活動の充実
- 高齢者向け各種講習会
- 挨拶や顔の見える関係づくりなどの住民間の交流促進



### 目標2 みんなが参加・交流できる機会の充実

#### 【具体的な取組】

- サロン、食事会、子育てサロンなどの充実
- 行事の活発化
- 世代を超えた交流・ふれあいの場づくり



### 目標3 安全・安心のまちづくり

#### 【具体的な取組】

- 災害時要援護者への支援の検討・充実
- 防災備品や食糧の整備
- 防犯、防災対策



### 目標4 必要な情報が届く仕組みづくり

#### 【具体的な取組】

- 自治会の情報共有
- 自治会や団体の活動をPR
- ITシステムの整備（インターネットを活用した情報発信）





## 強い絆のまちづくり

**振り返り** 第3期計画で戸塚第二地区が取り組んできたこと

### 主な活動と取組

1. 地域の絆を強めるため、幼児から高齢者までの触合える場を提供しています。

ふれあいサロン①、にこにこキッズ②、ふれあい太極拳、レクリエーション大会③



2. いつまでも元気に生活できるように健康づくりの活動を推進しています。

とつ2ウォーキング④、骨・骨クラブ〈体操〉、ふれあい太極拳⑤



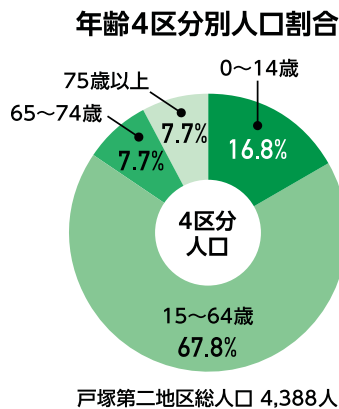
3. 安心安全な地域社会をめざして、防災防犯活動をすすめています。

災害発生時に役立つ携帯用の「災害安心カード⑥」の配布を行っています。「社協だより」に随時防災防犯記事のをのせ、住民の意識向上に努めました。地域防災拠点訓練を通して防災活動の重要性を推進しています。

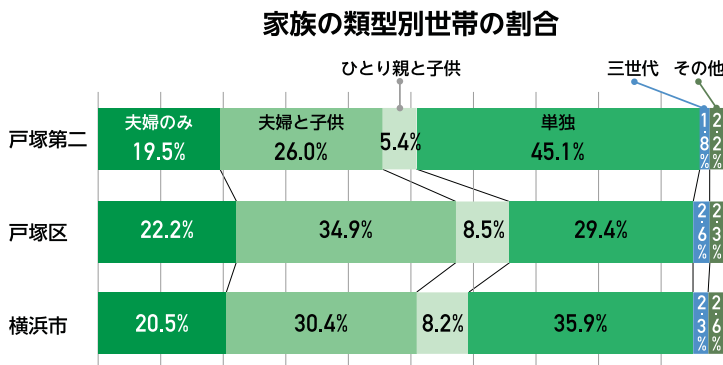
4. 情報共有力の向上に向けて活動しています。

社協だよりを隔月に発行し、活動状況を報告し、情報共有に努めました。連合町内会広報紙や、町内会報紙、掲示板及び回覧等で情報を確実に伝達しました。

### data 戸塚第二地区の現況



出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出





## 第4期の目標

再開発やコロナ禍等の急激な社会の変化に柔軟に対応して、誰もが住み慣れた第二地区で、安心して、心豊かに暮らすことのできる地域社会を実現します。

### 目標1 ふれ合える地域活動を着実に推進します

#### 【具体的な取組】

- (1) 高齢者が安心して暮らせる地域を目指す
- (2) 交通問題の改善に向けた活動を推進
- (3) 子育て支援活動の推進  
子供達とともに活動を推進

### 目標2 支え合う防災活動を推進します

#### 【具体的な取組】

第3期の活動の評価や第4期対応のアンケートの結果に基づいて

- (1) 災害時の要援護者支援体制の具体化に向けて一歩踏み出す
- (2) 災害安心カードの携帯を積極的にPR

### 目標3 地域情勢の変化に対応した新たな活動を進めます

#### 【具体的な取組】

再開発後のマンション住民の増加、労働人口の増加等の人員構成の変化等の地域情勢の変化に対応した新たな活動を進めます。

- (1) マンション住民の自治会加入の促進
- (2) 新型コロナウイルスに対応した新しい社会への対応  
休止活動の再開に向けての活動

### 目標4 絆を強める情報を確実に提供します

#### 【具体的な取組】

- (1) 皆さんの意見を反映した活動にするため、地域活動の情報共有に努める。  
社協だより、連合の広報、掲示板、回覧だけでなく、イベントの機会をとらえて随時チラシを配布するなど、活動のPRに努めます。
- (2) アンケート等により、広く地域の皆さんの意見を吸収して皆で運営して参ります。

# 戸塚第三地区

## 心つながる ふれあいのまち

### 振り返り 第3期計画で戸塚第三地区が取り組んできたこと

自治会・町内会単位をベースとして、活動や行事の特性により近隣町内会との連携をとりながら、ハートプランの基本目標に沿った活動を行ってきました。また、各部会では、自治会・町内会から選出されたメンバーが協力しあいながら、その部会ごとの役割に沿った様々な活動を進めてきました。

### 主な活動と取組

#### ■ 交流・仲間づくり

健民体育祭などのイベント開催に加え、「NPO法人ぶらっと」との連携も進めてきました。



■ ぶらっとでのツリークライミング



■ 健民体育祭

#### ■ 子ども・子育て支援

子どもたちの安全や、仲間づくり、思い出づくりのための活動を行ってきました。



■ デイキャンプ



■ 鳥が丘びよびよクラブ

#### ■ 防犯・防災

青パトによる防犯活動や、各種防災訓練の開催などにより、安全・安心の地域づくりをしてきました。



■ 青パトの見守り



■ 消火訓練

#### ■ 高齢者支援

見守り活動や、サロン・食事会の開催など、高齢者支援の輪を広げてきました。



■ 福ちゃんサロン

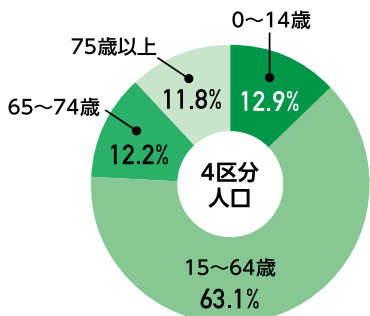


■ 木曜会のお食事

data

### 戸塚第三地区の現況

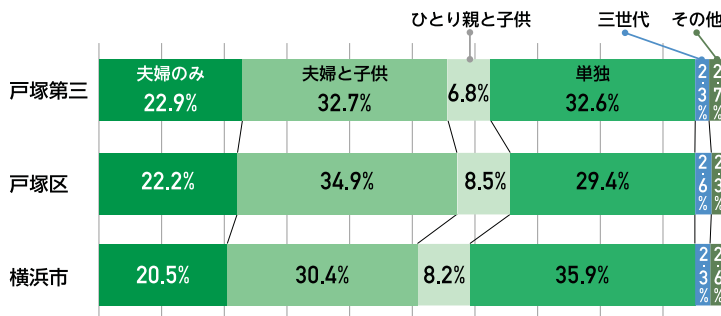
#### 年齢4区分別人口割合



戸塚第三地区総人口 17,081人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）





## 第4期の目標

# 互いに支え合う 住みよいまちを目指します

## 目標1 地域内の連携を強めよう!!

### 【具体的な取組】

- 地域で活動する団体との連携
- 部会間の連携による活動や情報共有の活発化などにより交流の場を増やし、地域のつながりを強めていきます。



■ 地区懇談会

## 目標2 支え合いと助け合いを継続しよう!!

### 【具体的な取組】

- 高齢者や障害者の見守りや支え合い
- 赤ちゃんから小中学生まで、地域ぐるみの子育て支援などにより広い世代が協力し合えるよう活動を続けていきます。

## 目標3 広報活動を充実させよう!!

### 【具体的な取組】

- 広報誌「あさがお」による広報の継続
- 若い世代への周知のための新しいメディアによる情報発信などにより活動が地域の皆さんに広く伝わるようにしていきます。



■ 広報誌「あさがお」

## 安心して暮らせるまち・踊場

### 取組紹介 踊場地区の取組

まちの経営方針の中で優先順位の高い5項目を実践してきました。



### 主な活動と取組

#### 高齢者とふれあい・支えあい



■ ふれあいカフェ



■ ふれあい昼食会

#### 防災意識の向上



■ 全戸配布の防災パンフレット

#### 健康づくり



■ 健民ウォーク

#### 踊場らしい風景づくり



■ まちのユニバーサルデザインに向けた検討

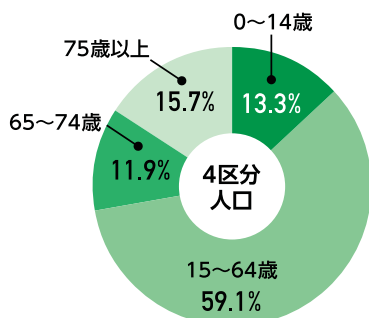
#### 情報共有



■ 会議風景

### data 踊場地区の現況

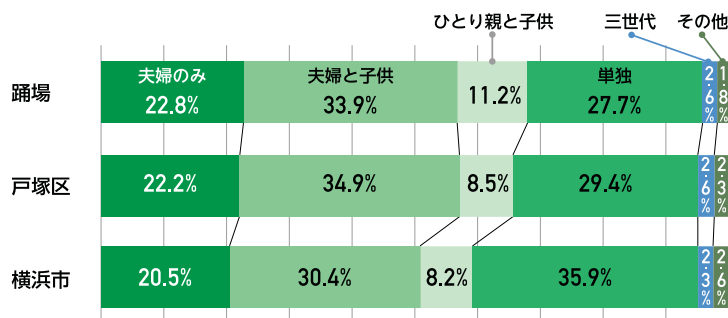
#### 年齢4区分別人口割合



踊場地区総人口 13,721人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）



## 第4期の目標

**みんなで楽しく暮らす**  
**みんなで協力して笑顔で暮らせるまちを目指します。**

「第3期活動方針を継続」し、さらに具体的な取組を行います。

### 取組1 ここにも居場所

みんなで連携できる活動を新たに実践していきます。



### 取組2 みんなで防災・みんなで防犯

震災時には自宅周辺で生活できる体制づくりと  
 助けあいの防犯体制を整えます。



### 取組3 誰にもやさしい みちづくり

交通事故の軽減や坂道でも歩きやすく、魅力ある  
 「みちづくり」を目指します。





# 北汲沢地区

## みんなの手 人にやさしい きたぐみのまち

### 振り返り 第3期計画で北汲沢地区が取り組んできたこと

北汲沢地区は、高齢者支援や健康づくり、多世代交流など、安心・安全なまちづくりを進めてきました。その間、2回の全世帯アンケート調査やつかハートプラン補助金を活用しながら、地域活動内容を紹介した50枚のパネルを作成し広報活動を活発に行いました。

#### 主な活動と取組

##### ① 地域の高齢者に役立つ支援活動

- 1 福祉有償運送事業に基づく10名の担い手による年間1,900回の医療・福祉施設への送迎や買い物支援活動
- 2 樹木の剪定、草取りなどによる年間延べ25回の日常家事支援活動
- 3 一人暮らし高齢者へ年間24回1,800食、食事サービス



##### ② 安心・安全なまちづくりの統一活動

- 1 連合町内会・家庭防災員・地区社協連携の統一防災訓練の実施
- 2 年末年始特別警戒実施中の防犯取組  
全地区120箇所のぼり旗の設置、  
全町会一斉5日間防犯パトロール 延べ500名の実施
- 3 さわやか運動によるまちの一斉清掃活動



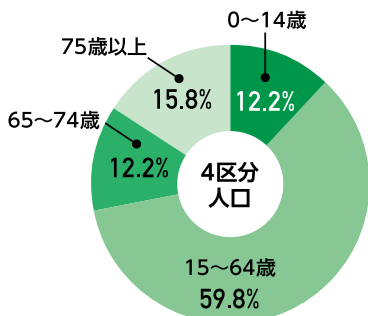
##### ③ 健康福利やスポーツを通じた子どもから高齢者まで参加できる交流活動

- 1 クローバースポーツクラブの活動教室（年間11回、2,300名参加）の実施
- 2 健民祭ウォーキングによる健康交流や各部会健康講座
- 3 小中学校生徒との連携活動、乳幼児親子支援活動の実施  
◇子供の集い、ドッチビー町内対抗、子ども水泳教室  
◇汲沢中1年生全員との交流授業や車いす体験授業



### data 北汲沢地区の現況

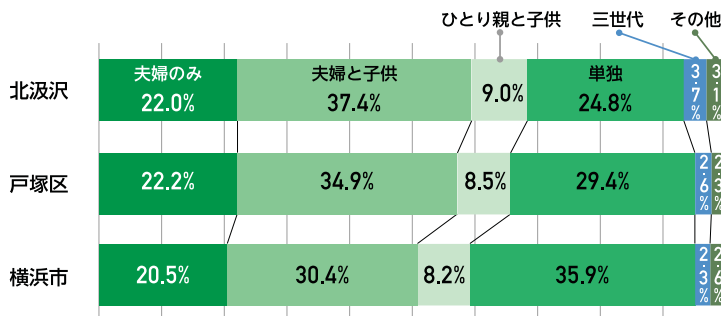
年齢4区分別人口割合



北汲沢地区総人口 6,154人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）





## 第4期の目標

- 1 住民が安心・安全に暮らせる住みよいまちづくり活動を統一して推進します
- 2 高齢者・障がい者・子育て家庭に役立つ支援活動を行います
- 3 スポーツ・イベントを通じ世代間交流をはかり、健康づくり・仲間づくりを目指します
- 4 子供たちへの健全育成に向け地域と学校との交流活動を図ります
- 5 近隣地区連合との連携交流を深め協働活動を強化します

### 目標1 安全なまちづくり

#### 環境

ごみのないクリーンなまちづくり

#### 防犯

犯罪のない安心安全なまちづくり

#### 防災

防災訓練などを通して防災意識向上のまちづくり

### 目標2 仲間づくり

#### スポーツ

スポーツを通じ、仲間づくりや体力の維持・向上を目指す

#### 健康

クローバースポーツクラブや健康講座を通して、健康づくりを推進する

#### 世代間交流

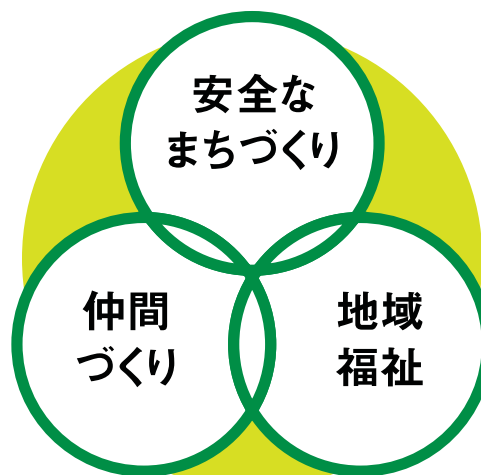
地域と学校との連携、地区懇談会・地域交流授業・車椅子研修・地域のイベントを通じた老若男女の交流

#### イベント

健民祭・ウォーキング他、子供の集い・ドッチビー・水泳教室、親子ドッチビー、ホテル観賞会、サマーズキャンプ、各町会の夏祭り、運動会、餅つき、講演会等

#### 他地域との連携

他地区連合との交流、ハートプラン、クローバースポーツクラブ、年末防犯活動を通じた連携、地区センターまつり、合同会議を通じた連携



誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる  
地域社会の実現をめざして！

### 目標3 地域福祉

#### 外出時の移動サービス

高齢者・障がい者を自宅～目的地へ低額料金で移送

#### 家事支援サービス

高齢者宅の樹木の剪定、草取り、包丁砥、簡単な補修、粗大ごみだし・手続

#### 定期訪問事業

ひとり暮らし高齢者宅を月1回訪問し、安否の確認

#### 給配食事業

ひとり暮らし高齢者に月2回お弁当をお届け、年2回食事を実施

#### 子育て支援事業

乳幼児家庭を対象に、毎月1回子育て相談会・お遊びを提供、年に数回イベント開催

# 舞岡地区

## 日頃の声かけ 地域の安心

### 振り返り 第3期計画で舞岡地区が取り組んできたこと

舞岡地区では、「住んでよかった!みんなが思えるふれあいのまち」を目指して様々な取組を行ってきました。第3期計画では、長く継続している活動に加え、地区内の社会福祉施設や交番にもネットワークを広げ、より活動を充実させるなど、新たな取組も始めました。

### 第3期計画で新たに取り組んだこと

- 自治会等と協力し緊急時に役立つ「救急安心カード」「まいかホルダー」の普及に努めた。
- 地区内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設と「消防応援協力覚書」を締結した。
- 地区内の特別養護老人ホームの車両により、舞フレンド参加者の送迎支援を開始した。
- 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設が地域に開かれたまつりを開催したり、障害者施設が地域食堂を始めるなどの交流が広がった。

### 長く継続されている主な活動

舞クラス（個別支援学級の保護者の交流）



■ 誰もが安心して地域で暮らし続けられるよう、講演会や交流会を通して個別支援学級に通う児童生徒の保護者をつなげる活動をしています。広く地域の皆さんにも参加していただいています。

舞フレンド（ミニデイサービス）



■ 30年続いている住民主体のミニデイサービスです。多世代交流の場として子育て世代も参加され、和やかな雰囲気でも季節の行事など楽しんでいます。

かすみ草の会（一人暮らし高齢者の食事会）

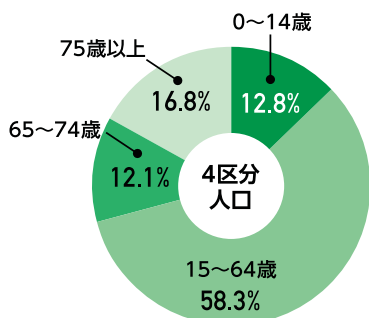


■ 1人暮らしの高齢者の方（75歳以上）を中心に、手作りの昼食を食べ、健康相談や講座、レクリエーションを楽しんでいます。

data

### 舞岡地区の現況

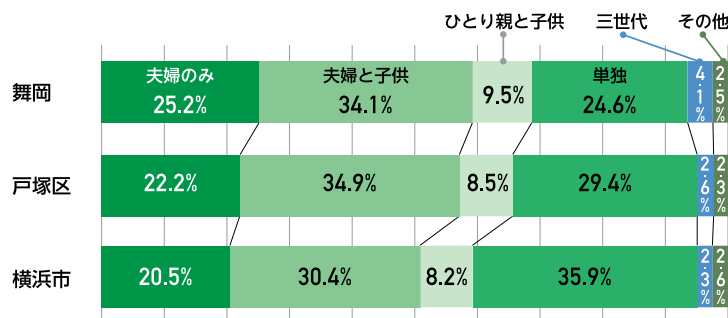
年齢4区分別人口割合



舞岡地区総人口 12,860人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）



## 第4期の目標

# 「住んでよかった！みんなが思えるふれあいのまち」を目指して…

### 取組1 地域の活動者を増やします

- 地域の魅力のある活動を広く知ってもらう機会を積極的に設けます。
- 活動を長く継続できるよう、後継者の育成を行います。
- 「できるひとが、できることを、できることから」始められるよう取り組みます。

### 取組2 住民が安心して生活できるよう緊急時の体制づくりを強化します

- 「救急安心カード」を全世帯に配付し、引き続き普及や機能の拡充を図ります。
- 要援護者の災害時の受入体制を強化します。
- 地区内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設と締結した「消防応援協力覚書」を踏まえ、緊急時の体制づくりを推進します。
- 地域特性にあった地域防災訓練を実施し、誰もが参加しやすい環境を整備します。

### 取組3 地域の機関・施設団体と連携して、より身近な地域での活動を推進します

- 現在行っている地域活動・事業を継続しながら、その時々に応じた活動へと発展・拡充させます。
- 地域と施設・学校等の顔の見える関係づくりを更に深め、地域全体でのネットワークを拡大していきます。
- 感染症等の社会状況を踏まえ、新しい活動、ネットワークのあり方を模索していきます。

### 取組4 誰もが地域の住民として尊重しあい支えあえる関係を築きます

- コミュニケーションを通して、相互の理解を深め信頼関係を築けるよう、出合いや交流の機会・場を充実させます。
- 連合会内の自治会町内会相互のつながり・横の連携を強化し、情報共有を図るとともに、良い取組が広がることを目指します。

# 川上地区

## みんなでそなえ、育み、支え合うまち

振り返り

### 第3期計画で川上地区が取り組んできたこと

**【防災対策の共有】** 各町内会、自治会で3年間かけてアンケート調査や防災訓練等、それぞれ防災対策を実施し、地区懇談会等で情報共有。地区の防災力の向上を図りました。

**【子育て支援】** 子育てサロン、地域の世代間の交流など、登下校見守り、むかしあそびなどでの交流なども通じ子育て世代を支援しています。

**【支えあうまち】** 令和2年で34年目となる高齢者食事会「若葉会」はじめ、ふれあいサロン「ひまわり」・男の料理教室・レクリエーション大会など地域の絆を支える取組をすすめました。(町内会自治会単位、地区社協・連合町内会単位で多くの取組をすすめました。)

**【エコ活動の推進と下川地区との交流】** 「川上地域エコ活動委員会」を組織し、啓発のための「環境講演会」を毎年実施しているほか、北海道下川町と小学生の相互交流を行っています。また、令和元年からは、3年計画で地区懇談会のテーマを「SDGs」としました。2年度には環境省の「地縁コミュニティを通じた省エネ行動促進事業」(横浜市温暖化対策統括本部協力)にも協力しています。

### 主な活動と取組

#### 環境関連



■ 毎年講師を招き地球環境問題の啓発や、北海道下川町との小学生の相互交流の発表などを行っています。

#### 多世代交流

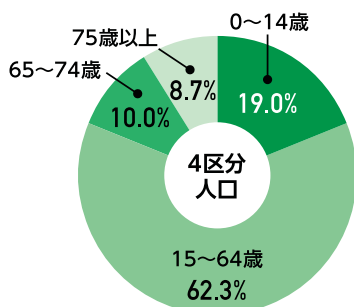


■ 子育てサロン「ぶらんこ」とふれあいサロン「ひまわり」共催で多世代交流をすすめました。

data

### 川上地区の現況

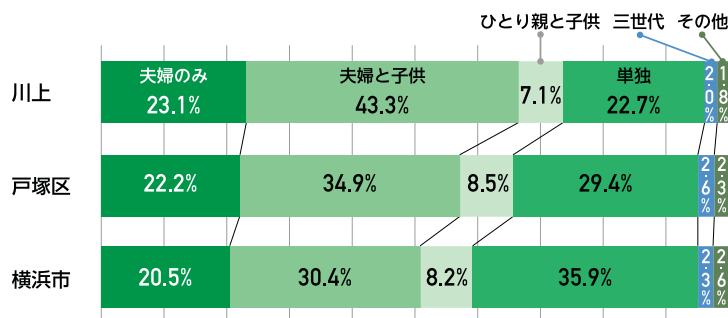
#### 年齢4区分別人口割合



川上地区総人口 16,804人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）





## 第4期の目標

秋葉町と前田町からなる川上地区では、高齢化がすすむと同時に新規住宅開発などにより子育て世代が増加しています。連合町内会と地区社会福祉協議会を中心とした様々な団体・グループが連携し、来たるべき災害への備え、支えあい、エコ活動などを通して地域の世代間交流を図りながら、幅広い活動を展開していきます。

### 目標1 みんなでそなえる防犯・防災のまち

#### 【具体的な取組】

各町内会・自治会同士が協力し、これまで起こった災害の記憶や印象を「風化」させないように、あらゆる機会をとらえて情報共有し、取り組みます。また、地域ぐるみで学童の見守りや防犯パトロールを行い、防犯・防災への取組を進展させます。



■ 防災の取組の共有

### 目標2 みんなで育む子育てのまち

#### 【具体的な取組】

みんなが集まる場づくりや、未就学児を対象にした子育てサロンなどを通じて子育てを支援します。

また、地域ボランティアとの「むかしあそび」などを通して多世代間の交流を継続的に実施します。



■ 多世代間の交流

### 目標3 みんなの支えあいが続くまち

#### 【具体的な取組】

連合町内会、地区社会福祉協議会等によるレクリエーション大会、高齢者食事会、サロン、子育て支援などを継続します。さまざまな行事を通じて新しい担い手が加わるよう努めます。



■ レクリエーション大会

### 目標4 エコ活動等により持続可能なまち

#### 【具体的な取組】

連合町内会、地区社会福祉協議会等による目標1から3に加え、「川上地域エコ活動委員会」を中心とした環境関連への取組を継続するとともに、「SDGs」の17の目標とも連動しながら地域活動に取り組みます。



■ SDGs 世界を変えるための17の目標

# 柏尾地区

## かたいきずなど、しんらいで、おたがい仲良く地域の「わ」

### 振り返り 第3期計画で柏尾地区が取り組んできたこと

- 柏尾地区には、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の住民が暮らしています。
- 大規模マンションの新住民も含めて、その一人ひとりに寄り添った取組を地域全体で支えてきました。
- 様々な活動メニューを用意して実施するのは大変ですが、結果的に多くの住民が参加でき、住民相互の新たな交流やボランティアも増えるなど、地域のまとまりがさらに向上しました。

### 主な活動と取組



#### 地域ぐるみの子育て支援

新しいマンションの皆さんを地域が積極的に支援し、今では連合の活動を一緒に行っています。児童の登下校を学援隊の皆さんが見守ります。

#### ふれあい・健康づくり

かしのこども食堂は、単に食事を提供するだけでなく、子供から高齢者まで多世代の交流の場となっています。開催場所を複数にしボランティア希望者も増えました。



#### 安心・安全・人にやさしいまち

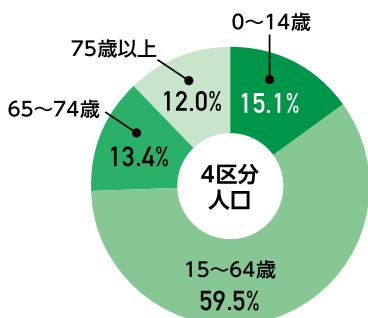
防災リーダー会議を新設したほか、夜間訓練やトイレ対策講習など、独自の防災訓練に多くの住民が積極的に参加しました。



data

### 柏尾地区の現況

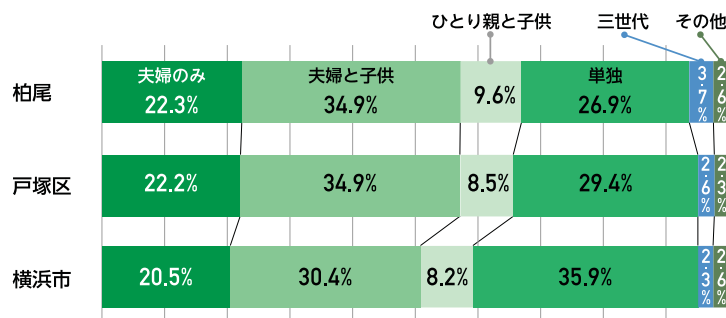
#### 年齢4区分別人口割合



柏尾地区総人口 10,377人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）



## 第4期の目標

柏尾地区の連合町内会は令和2年に設立30周年を迎えました。

約8割の世帯が連合に加入する固い結束力と厚い信頼関係の上に、多くの取組を行ってきた地域の輪を、今後もさらに大きくしていきます。

そのためには、次世代の担い手を育成していくことが重要であり、連合に青年部を組織化するなど新たな取組も進めます。

### 目標1 子育てを地域ぐるみで支援します

#### 【具体的な取組】

- 親子で交流できる場として好評な「ハートぼっぼ」の取組を、地域のニーズに合わせて継続します。
- 新たな住民の皆さんとも地域がうまく連携して、子育てから介護まで支援の輪を大きくしていきます。



■ ハートぼっぼ

### 目標2 地域のふれあいと健康づくりを進めます

#### 【具体的な取組】

- コロナ禍の中で実施が難しくなった「こども食堂」の再開・継続に向けて、工夫を図ります。
- インディアカやマラソンのイベント、多様なサロンなどを通して、多世代交流と健康づくりを引き続き推進します。



■ 元旦マラソン

### 目標3 安心・安全で人にやさしいまちを目指します

#### 【具体的な取組】

- 災害時に備えて、地域住民が支えあえるように、各自治会・町内会の防災リーダー育成と連携強化を進めます。
- 地域防災拠点に「感染症対策チーム」を立ち上げるなど、コロナに負けない避難所運営に取り組みます。



■ 防災訓練



# 東戸塚地区

みんなが気持ちよく、安心して暮らせるまちを、みんなの力で

**振り返り** 第3期計画で東戸塚地区が取り組んできたこと

- 【目標1】 あいさつからはじまる明るいまちづくり
- 【目標2】 みんなで支えあい、助け合うまちづくり
- 【目標3】 みんなで取り組む安全・安心のまちづくり
- 【目標4】 地域の活動を知り、活動に参加することから広がるまちづくり

### 主な活動と取組

#### 東戸塚をこころんでいっぱいしよう

ハートプランを皆に知ってもらうために次の取組を行いました。

- こころん人形2,000個を手作り配布しました。
- 「ランドセルカバーにこころんを印刷すること」の提案をして、採用され、区全域の新入生に配布されています。



#### 顔見知りが多くなること、仲間を作ること

- 令和2年2月で10回目の「凧揚げ大会」800人の参加、250旗の凧が揚げられました。
- 令和元年5月には、区制80周年記念「凧揚げ大会」が行われ、とつかハートプランの連凧を揚げました。



#### 交流スペースの立ち上げ

県営団地の空き住戸に開設した交流スペース「憩いの部屋」で、一人ひとりの困りごとに、関係機関(神奈川県、戸塚区、総合病院、大学、スーパーマーケット、戸塚区社会福祉協議会、地域ケアプラザなど)の協力を得ながら運営しています。

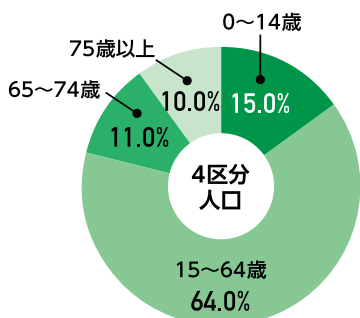


#### 第4期計画策定に向けて

- ハートプランやこころんをより多くの方に知ってもらうため、引き続き、具体的なPR方法を検討していきます。
- 「みんなが気持ちよく、安心して暮らせるまち」となるように、具体的にどのような取組を進めていくかを検討します。

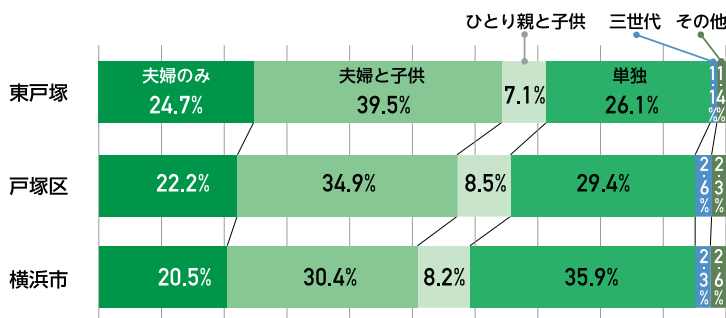
**data** 東戸塚地区の現況

年齢4区分別人口割合



出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）





## 第4期の目標

新しい街のため地域の拠点としての自治会の組織率が低く、連携しづらい状況もあります。しかし、住民主体の活動や地域貢献に取り組む企業・商店も多く、ゆるやかに見守りあえる土壌ができつつあるのが東戸塚の魅力です。住民同士のふれあいを大切に、“東戸塚に住んでよかった”と実感できる街づくりを目指して活動していきます。

### 目標1 あいさつからはじまる明るいまちをつくろう

- 誰にでも気軽に声を掛け合える関係をつくろう。
  - ・自治会、町内会、マンション内で、身近なところから「あいさつ」を広めよう。
  - ・学校や地域の団体等と連携し、こころんを活用してあいさつ運動を進めよう。

### 目標2 みんなで支えあい、助け合うまちにしよう

- 隣近所でゆるやかに見守る関係をつくろう。
- 隣近所で、お互いに気に掛け合って暮らそう。
  - ・認知症になっても隠さない、声を上げることができるよう、認知症の理解を広めよう。（認知症サポーター養成講座の開催、認知症の方への声掛け体験、認知症カフェ等）
  - ・子育て中の親子が、近所に頼れる関係をつくろう。（しゅっぱぽぽ、お茶の間楽交、憩いの部屋等、異世代交流の場を増やす）
  - ・子育て情報を発信しよう。
  - ・「支えあい」「助けあい」について考える場をつくろう。
- 困った時の相談先を知っておこう。（東戸塚地域ケアプラザ等、地域には相談先がたくさんあります）

第4期計画推進に向けて  
チラシ、フラッグ、シールなどの  
グッズやツールを活用し、い  
ろいろな団体や企業などと協  
力しながらハートプランのPR  
を進めていきます。  
東戸塚をマスコット「こころん」  
でいっぱいにします。

### 目標3 みんなで取り組む安全・安心なまちにしよう

- 災害時の情報を収集しよう。
  - ・各防災拠点等、地域の防災訓練に参加しよう。
  - ・日頃から災害時の備えをしておこう。
- 災害時要援護者も含め、隣近所で助け合えるような関係をつくろう。

### 目標4 地域の活動を知り、活動に参加して仲間づくりを広めよう

- 地域情報を発信しよう。（口コミを広めよう）
- 地域の行事に参加しよう。
  - ・顔見知りを増やし、参加できる活動を見つけよう。
- 様々な活動団体や個人の情報交換を行いお互いの持ち味を活かして連携しよう。（東戸塚ボランティア連絡会）

# 10 平戸地区

## 心の かよいあうまち 平戸

### 振り返り 第3期計画で平戸地区が取り組んできたこと

第3期は、22の団体と協力して子どもから高齢者まで多くの行事に参加されました。新たに始めた『地域一斉清掃』では顔見知りを増やし、『福祉・防災マップ』の作成では階段などが把握ができ、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組みました。その結果、年間で延べ約9,000名の方が行事に参加され、各自治会町内会の行事を含め概ね予定通り実施することができました。また、新たな取組として、地域活動についての「話し合い情報共有の場」として、「ハートプラン懇談会」を立ち上げました。

#### 主な活動と取組

##### ■ 安心・安全

自治会町内会ごとの防犯パトロールや小学生の登下校の見守りを行いました。また、「福祉・防災マップ」を全戸配布しました。



■ 福祉・防災マップ

##### ■ 人と人とのつながりづくり

「平戸ハートプラン推進の集い」では、講師を招き、居場所・たまり場作りの講演会を開催しました。大運動会、もちつき大会、すみれ会（高齢者食事会）、「かたつむり」「きらきら」（子育てサロン）を開催しました。



■ すみれ会

■ もちつき大会

■ 平戸ハートプラン推進の集い

##### ■ 健康づくり



■ ふれあいの集い ひらど

##### ■ 次世代育成



■ 小学校喫煙防止教育

##### ■ 情報発信・共有

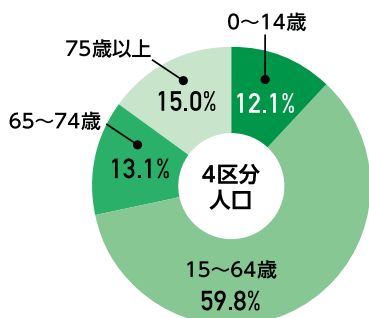
「地区社協だよりひらど」の発行に加え、ハートプラン推進を目的とした広報紙「ひらどハートプラン」も発行しました。



■ ひらどハートプラン

### data 平戸地区の現況

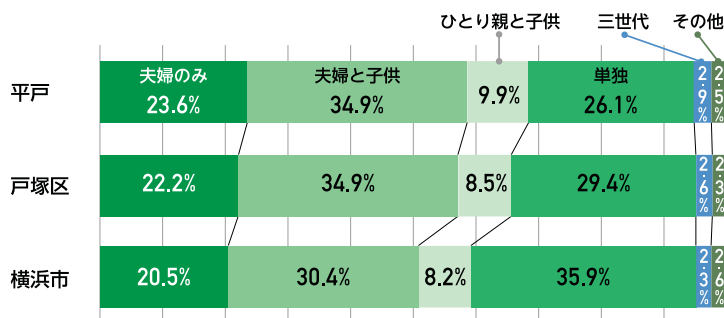
#### 年齢4区分別人口割合



平戸地区総人口 13,989人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）



## 第4期の目標

平戸地区は、国道1号線と環状2号線が交差し、中央に小中学校・公園・果樹園が広がり、住むところが分散されていますが、東戸塚駅からも徒歩圏内にあり、住みよい街として現在でも人口は増加しています。

平戸地区では、この街に住む人々が安全で安心して暮らせる街、健康で笑顔があふれる街にすることを目標に活動しています。第4期の取り組みにあたっては、分科会方式を取り入れ、この街に住む皆さんに寄り添い各年代にあった活動をしてまいります。

### 目標1 人と人とのつながりづくり

#### 【具体的な取組】

- (1) 自治会町内会ならびに小地域活動団体など、小さな単位の活動を支援します。
- (2) 子どもや子育て世代など若い世代が参加しやすい事業を行います。
- (3) 年間を通して、様々な交流事業を行います。



### 目標2 安全・安心な街づくり

#### 【具体的な取組】

- (1) 学童の登下校時の安全見守りを強化します。
- (2) 地域内の安全パトロールを実施します。
- (3) 防犯・防災活動に取り組んでいる団体を支援します。



### 目標3 健康づくり

#### 【具体的な取組】

- (1) 子どもから高齢者までの健康づくりを行います。
- (2) 体力づくりや食生活、心の健康の大切さをみんなに伝えていくために、各種出前健康講座やイベント・教室を開催します。
- (3) 個人個人が自発的に健康に向き合う街を目指します。



### 目標4 情報発信・共有

#### 【具体的な取組】

- (1) ICTを活用した情報発信や情報共有の仕組みづくりを行います。
- (2) 若年層が地域活動等に関心をもてるようにSNS等の導入を検討します。
- (3) 情報共有・発信により地域の各団体・ボランティアの連携した活動を育てます。





# 11 平戸平和台地区

## 近くの人が近くの人を助ける『近助の絆』を確かなものに

### 振り返り 第3期計画で平戸平和台地区が取り組んできたこと

多世代交流と健康づくりを目的とした多彩な地域行事で、地域のつながりを育むとともに、安全・安心できれいな住み良いまちづくりに取り組んできました。

#### 【地域防災拠点訓練など地域の安全・安心に取り組んでいます】

運営委員会と各町内会の連携した取組が行われ、防災マップは全世帯に配られました。

#### 【地域の絆はますます強くなっています】

中学生もボランティア参加する茜会、新たな地域交流拠点『にこここハウス』もオープン。

#### 【多世代が触れ合う健康づくり事業が多彩に展開されています】

伝統の大運動会も新規取組のみんなで楽しむ卓球会も地域の健康づくりに寄与しています。

### 主な活動と取組

#### 伝統として息づいている行事



■ 防災訓練



■ 大運動会



■ 茜会

#### 3期中に生まれた新たな取組



■ 防災マップ



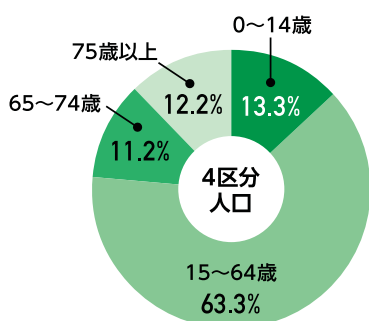
■ にこここハウス



■ 卓球会

### data 平戸平和台地区の現況

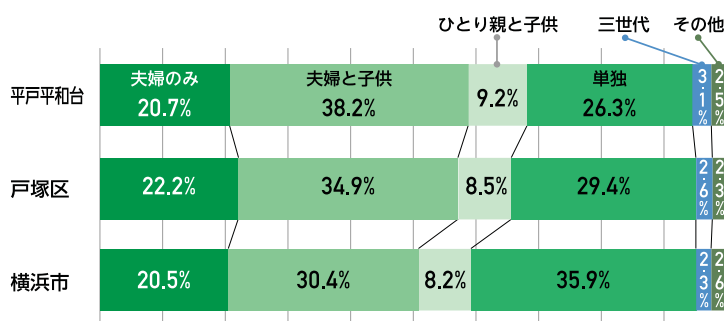
#### 年齢4区分別人口割合



平戸平和台地区総人口 10,244人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）





## 第4期の目標

近くの人が近くの人を助ける『近助の絆』を確かなものに  
日ごろから地域で行われている多彩な取組を大切にしながら、地域のつながりを育み、  
健康で、安全・安心・きれいな住み良いまちを目指します。

### 目標1 地域のつながりを大切に

#### 【具体的な取組】

- (1) 災害時要援護者の支援や、地域での見守りに取り組んでいきます。
- (2) 地域で実施する様々な行事や活動を大切にしながら、「近助の絆」を育てていきます。
- (3) 地域の魅力や活動をもっと知ってもらう活動を広げます。



■ 大運動会

### 目標2 こころもからだも健康に

#### 【具体的な取組】

- (1) スポーツやからだを動かす行事を充実していきます。
- (2) 老人クラブの活動や地域ケアプラザでの健康チェックなどを通じ、健康づくりの活動を続けます。
- (3) 気軽に出かけられる場をつくり、多世代がふれあい、交流できる機会にもつなげます。



■ 地域交流拠点「こここハウス」  
令和2年度、空き家を利用した様々な活動が評価され「読売福祉文化賞」を受賞

### 目標3 安全・安心で住み良いまちに

#### 【具体的な取組】

- (1) 防災の大切さをいつも心に留め、地域防災拠点の運営の充実に取り組み、より安全で安心なまちにします。
- (2) 登下校時の見守り、声掛けによる特殊詐欺の防止等の防犯活動、各町内会による初期消火訓練などの火災予防、空家の把握などに取り組みます。
- (3) 自転車のマナーもゴミ出しのマナーもみんなで守って、気持ち良く暮らせるまちを目指します。



■ 防災訓練

### 目標4 みんなが地域の担い手に

#### 【具体的な取組】

- (1) 犬の散歩を兼ねた見守りやパトロールなど、これまで参加されなかった方々への参加も呼び掛けていきます。
- (2) 若い方にも地域活動の参加に関心が高まるよう、気軽に立ち寄れる場や活動を検討していきます。
- (3) 清掃や公園の手入れなど、みんなで参加し、日常生活の支援などでも助けあっていきます。

# 上矢部地区

## かおのみえる みんなに やさしい ベストなまち

### 振り返り 第3期計画で上矢部地区が取り組んできたこと

#### 主な活動と取組

顔の見える関係づくり ～地域の行事や活動に参加していただき「顔の見える関係へ」～

#### すいとんdeかみやべ



子どもから高齢者まで、昔ながらの遊びを通して友好の輪を広げています

#### AQUA フェスタ



阿久和川の水辺を生かした住民の皆さんが楽しく交流するイベントです

#### 大運動会



上矢部高校で16町内対抗で綱引き、リレーなど汗を流しています

#### 公園清掃



各地域の公園を公園愛護会と自治会町内会で毎月1回実施しています

支えあいの仕組みづくり ～いざという時のための支えあいの仕組みづくり～

#### かみやべGO



子育て支援として、親子の交流の場づくりをしています

#### お茶の間



一人暮らし高齢者の見守り訪問や、食事会「お茶の間」を行っています

#### 地域防災拠点訓練



トランシーバーを活用して他の防災拠点と相互連絡を確認しました

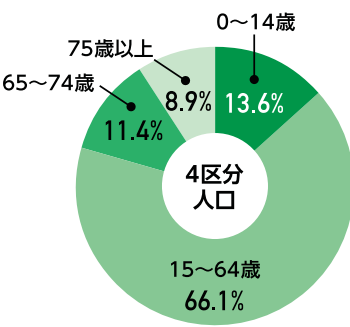
#### 防災・減災の備え



日常の備えとして、携帯用トイレの備蓄推進と防災講座を開催しています

### data 上矢部地区の現況

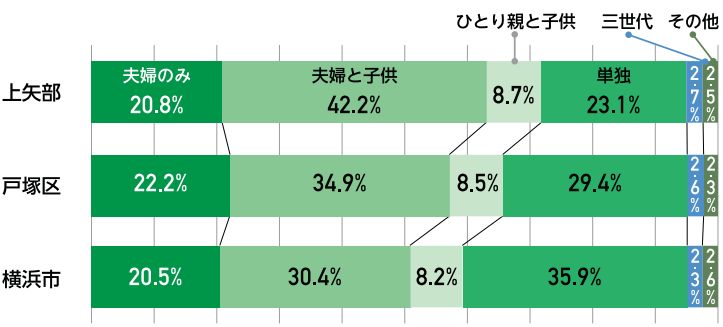
#### 年齢4区分別人口割合



上矢部地区総人口 16,058人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）



## 第4期の目標

**顔の見える関係から顔のわかる関係へ！  
支えあいは自助・共助に加え、近助の関係づくりへ！**

### 目標1 顔の見える関係づくり

#### 【具体的な取組】

- すいとんdeかみやべ  
昔ながらの遊びを通して、みんなが楽しめる交流の場づくりをします
- AQUAフェスタ  
阿久和川の水辺を生かした住民の皆さんで楽しくふれあい交流する場づくりをします
- 連合町内会大運動会  
自治会町内会が一致団結して取り組む運動会を実施します



### 目標2 支え合いの仕組みづくり

**安心で安全なまち、安心して子育てしやすいまち**

#### 【具体的な取組】

- かみやべGO  
子ども・子育ての仲間づくりをします
- お茶の間  
見守り訪問のほか、高齢者向けに手作り食事会を行います
- 地域防災拠点訓練  
防災訓練の実施および、食料・飲料・携帯トイレの備蓄を進めます



### 目標3 ハートプランを広く知ってもらう

#### 【具体的な取組】

- 「ハートプラン行事一覧表」のお知らせ  
自治会町内会が開催する納涼祭などを一覧表でお知らせします
- 地域への情報発信  
相手に合わせた手段で情報発信します
  - ① 民生委員、児童委員の見守り訪問の合わせてお知らせなどをお届け
  - ② 「子育てカレンダー」により、子育て支援の内容をお知らせ
  - ③ 回覧板、掲示板に加え、SNSの活用、HPの作成などを検討





# 13 名瀬地区

## 安心・安全、福祉のまち♥名瀬

### 振り返り 第3期計画で名瀬地区が取り組んできたこと

- 新たなボランティア、担い手づくり
- 水と緑の資源を生かした地域づくり
- 地域交流・多世代交流ができる場づくり

名瀬地区では子どもから高齢者まで参加できる活動のあるまちを目指して、様々な取組を行ってきました。第3期では、地区内の企業等の協力を得て、買い物支援を検討、実施しました。今後も引き続き、取組を進めてまいります。

### 主な活動と取組

#### 桜カフェ ひとやすみ ●●



■ 妙法寺の素敵な環境の中で楽しむ、仲間づくりの場

#### 名瀬のまちを歩こう ●●



■ 里山を歩き、ゴールでは豚汁と焼きそばで多世代交流

#### 移動支援(買い物支援) ●●



■ 地域の特別養護老人ホームや企業の協力を得て、買い物や移動をサポート

#### ラブリーなせ ●●



■ 助けあいや美化活動等、協力して行っています

#### モーモークラブ ●



■ 名瀬小ふれあいルームで、楽しい親子教室(現在は、名瀬第二町内会館にて実施)

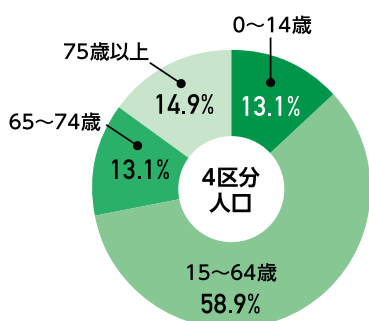
#### かいぞう広場 ●●



■ 赤ちゃんから高齢者の方まで、昔遊びで多世代交流

### data 名瀬地区の現況

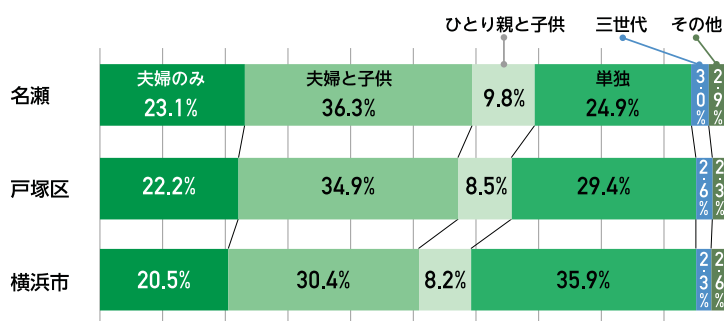
#### 年齢4区分別人口割合



名瀬地区総人口 14,309人

出典：横浜市住民基本台帳(令和2年9月末現在)より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出(平成27年調査)





## 第4期の目標

# 安心・安全、助け合いのまち♥名瀬

### ● 目標1 新たなボランティア、担い手づくり

#### 【具体的な取組】

- 移動支援（買い物支援）
- ラブリーなせ
- かいぞう広場（名瀬第一町内会館）
- つむぎの会（配食ボランティア）



■ つむぎの会

### ● 目標2 水と緑の資源を生かした地域づくり

#### 【具体的な取組】

- 桜カフェひとやすみ（妙法寺）
- 名瀬のまちを歩こう
- 子育て連絡会
- ラジオ体操で健康づくり



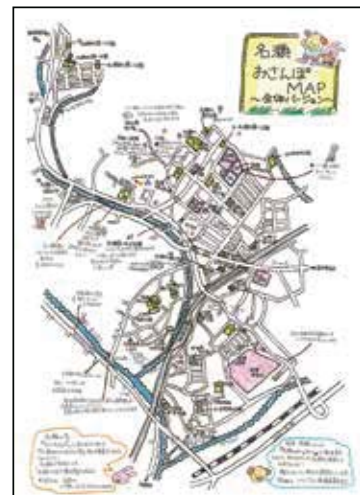
■ ラジオ体操で健康づくり（名瀬下第一公園での様子）

### ● 目標3 地域交流・多世代交流ができる場づくり

#### 【具体的な取組】

- かいぞう広場、移動支援（買い物支援）
- ラブリーなせ
- モーモークラブ（名瀬第二町内会館での親子教室）
- 桜カフェひとやすみ、名瀬のまちを歩こう
- 子育て連絡会、ラジオ体操で健康づくり

名瀬おさんぽMAPは名瀬地区子育て連絡会において作成しました。  
是非、地域の皆様にも活用して頂けると嬉しいです。



■ 名瀬おさんぽMAP

# 14 大正地区

**「ありがとう」「お互いさま」と笑顔で挨拶、  
見守り、助け・支え合える、やさしいまち 大正**

**振り返り 第3期計画で大正地区が取り組んできたこと**

「ありがとう」「お互いさま」が合言葉、つながって幸せを分かち合うまちを目標に重点取り組み事項4つを掲げ取り組んできました。

**重点目標1 みんなで安全・安心なまちをつくろう!**

民生・児童委員、老人会を中心とした挨拶や見守り活動の充実に加え、新たにわんわんパトロール（犬の散歩での地域見守り）を開始した事で、安全・安心なまちづくりに繋がった。

**重点目標2 子どもからお年寄りまで交流できる環境を整えよう!**

「大正フェスタ」「ふれあい会食会」等の行事、新たに、学校はじめ各種団体が連携し世代間交流を促進したことにより「地域マップ」「たいしょう食堂」などがはじまり、仲間づくりを育んだ。

**重点目標3 住民一人ひとり、みんなの力で防災・減災・防犯に取り組もう!**

マンション・戸建てで地域の実情に合わせた防災・防犯に対する取り組みを行うとともに、学校、地域の協力による防災・避難訓練、わんわんパトロール等により、防災・減災・防犯意識がさらに向上した。

**重点目標4 こころもからだも健康なまちづくりを進めよう!**

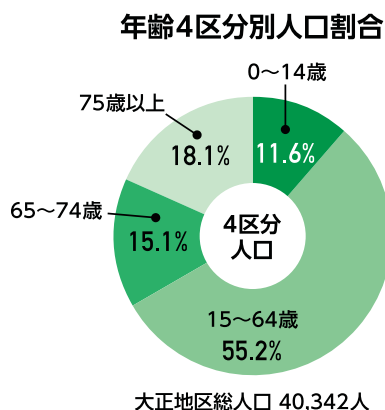
地域内の施設を活用することにより新たな活動団体ができ、地区行事や講座等により交流が増えて、仲間とともに健康意識が向上した。

※ 4つの重点目標を達成するために、  
大正地区社会福祉協議会として新たにホームページを立ち上げた。

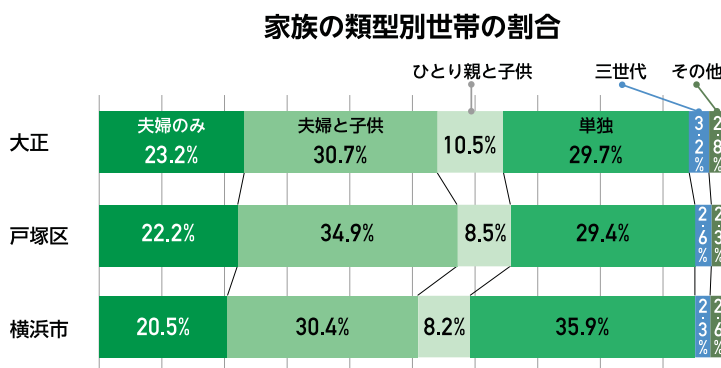


大正地区社協HP

**data 大正地区の現況**



出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）



## 第4期の目標

### みんなで安全・安心なまちづくり

困ったら気軽に相談する場所があり、相談できる人がいるまちにするため、目標を4つ掲げ、笑顔で挨拶し、見守り、助け・支え合えるやさしいまちを目指します。

#### 目標1 みんなで安全・安心なまちをつくろう

##### 【具体的な取組】

- これまでの取組の成果をふまえながら、それぞれの地域にあった見守りの仕組みづくりを進めます。
- 認知症・障がい・子育てについて、関係団体や機関と協力して講座（出前講座）など開催の仕方を工夫して理解を深められるよう取組を進めます。

#### 目標2 子どもからお年寄りまで交流できる環境を整えよう

##### 【具体的な取組】

- たいしょう食堂やふれあい会食会のような多世代が交流できる場を増やしていきます。
- みんながデジタル機器に親しめるような講座を開催し、新しい形の情報発信や交流の仕方を検討します。
- 幅広い世代でイベントなどの企画・立案を行い、その中で検討し世代間の交流を促進していきます。

#### 目標3 住民一人ひとり、みんなの力で防災・減災・防犯に取り組もう

##### 【具体的な取組】

- 自助・共助・公助の理解を深めるために、防災訓練に積極的に参加しましょう。
- わんわんパトロールの活動を地区の中で広げていきます。
- 災害時要援護者対策のあり方について検討を進めます。

#### 目標4 こころもからだも健康なまちづくりを進めよう

##### 【具体的な取組】

- 気軽に運動できるように、いろいろな団体や機関と一緒に「おさんぽMAP」を作成します。
- いつまでも元気でいられるように身近なところで、元気づくりステーションや体操教室などを活用して、介護予防を引き続き進めていきます。

# 15 汲沢地区

## 笑顔でつながる 緑豊かな「ぐみさわ」

### 振り返り 第3期計画で汲沢地区が取り組んできたこと

こどもから高齢者まで参加できる活動や、様々な活動の仲間を増やすための交流、団体同士の連携に取り組んできました。

#### 【七夕まつり】

幼児から高齢者までが参加し、短冊づくりなどで交流できる文化的イベントを開催しています。民生委員、子供会、青少年指導員、老人会、中学生ボランティアなどの協働体制を敷いています。

#### 【健康ウォークラリー】

連合町内会内に事業のブラッシュアップ検討プロジェクトを立上げ、数次にわたる検討の結果を以って実施した行事です。子供から高齢者、地元高齢者施設職員の方々の参加により実施し、運営側、参加側双方から高評価を得た行事でした。

### 主な活動と取組

#### 七夕まつり



短冊を取り付ける笹竹は付近の竹林から調達します。写真は短冊などの製作と飾りつけが終わった竹竿です。

#### 健康ウォークラリー

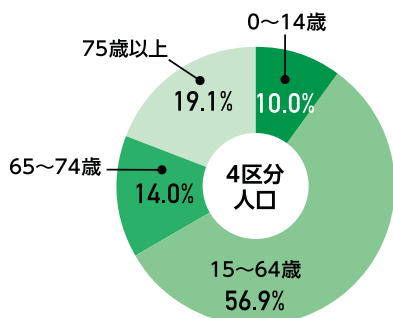


ゴール目前まで到着したチームが到着タイムを調整中の風景と成績発表の風景です。

data

### 汲沢地区の現況

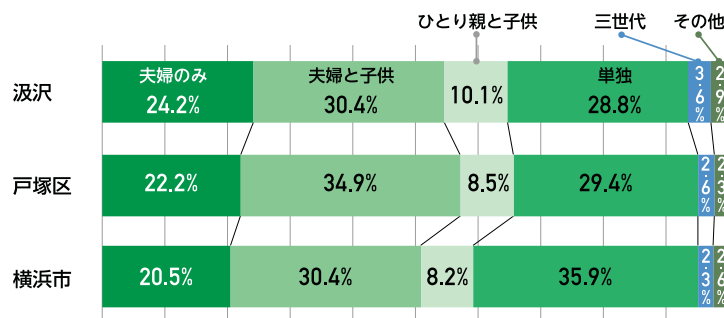
#### 年齢4区分別人口割合



汲沢地区総人口 6,112人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）





## 第4期の目標

# 人と人のつながりを大切にする町「ぐみさわ」

### 目標1 地域のふれあいの場を大切にしよう!

#### 【具体的な取組】

- 既存のふれあいの場の充実と新たな場づくりを目指します。
- 高齢者交流の場の更なるブラッシュアップを図ります。



■ ぐみカフェ



■ 誕生会

### 目標2 多世代がつながる機会を広めよう

#### 【具体的な取組】

- 七夕まつり、レクリエーション大会、健康ウォークラリーなど、地域のだれもが参加でき、多世代がふれあえる機会を広めていきます。



■ レクリエーション大会



■ 健康ウォークラリー

### 目標3 活動の情報発信に努めよう

#### 【具体的な取組】

- 地区のイベントや地域の様々な活動を紹介する広報活動を充実します。
- 各団体同士の相互交流の場づくりを目指します。

## あいさつと笑顔がつながる上倉田

### 振り返り 第3期計画で上倉田地区が取り組んできたこと

これまで、各自治会町内会や各種団体がそれぞれの活動を通して、ハートプランの推進をしてきましたが、第3期からの計画は、地区全体で地域の声を基に目標を設定し、取り組んできました。

地区懇談会などで、自治会町内会や各種団体の代表者が集まり、各目標の推進上の課題を抽出し、課題解決にむけて意見交換をして共有化を図りました。

### 主な活動と取組

#### 【連合町内会】

6月の地区懇談会と11月の連合まつりにとつかハートプランの取組についてグループ討議による意見交換、地域活動紹介ポスターの掲示等で活性化を図りました。



■ **地区懇談会**  
とつかハートプラン地区別計画の各目標の取組課題を抽出、グループ討議し、こころん通信(上倉田版)発行し共有しました。又、課題を担い手づくりとし討議、情報共有を図りました。



■ **連合まつり**  
地域フェスティバルとして、最大といえる連携事業。とつかハートプラン地区別計画の地域活動紹介ポスターを作成、掲示し地域の絆を高めました。

#### 【地区社協】

長年の事業を継続しつつ、利用者・ボランティアの要望や意見を参考に、次期に向けて検討してきました。



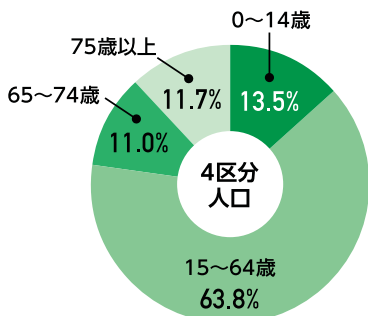
■ **高齢者向け講座  
生前整理講座**  
地域できちんと生きるため、気持ちとモノの整理術を学びました。  
その他、サロンや会食会で交流を深めています。



■ **交流会  
上倉田おやつ食堂**  
各町内会自治会単位に出向き、おしるこを無料持ち帰り配っています。  
小さな単位から、町内全体へつながっていくことを目指しています。

### data 上倉田地区の現況

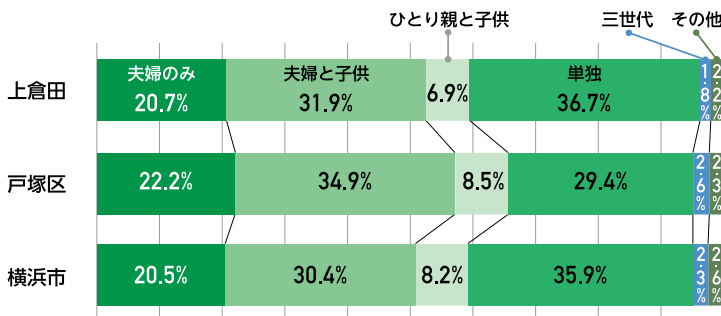
年齢4区分別人口割合



上倉田地区総人口 14,943人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）



## 第4期の目標

これまで上倉田地区は、第3期を導入期として活動を推進してきました。これからの第4期は、第3期地区別計画目標を継続し、定着期とします。「笑顔があふれる上倉田」を目指して、まちづくりを進めます。

### 目標1 安全・安心なまち

#### 【具体的な取組】

- 地域にかかわるみんなの力でパトロールを推進します
- 「安全」や「まち」をテーマとした講習会や交流会を開催します
- 地域の安全・安心のために、地域情報を様々な形で発信・共有します



### 目標2 地域活動の盛んなまち

#### 【具体的な取組】

- 新しい生活様式に合わせた広報活動を推進します
- 誰もが参加できる多世代交流の場づくりに取り組みます
- 「参加する」活動から「つながり」づくりの活動に取り組みます



### 目標3 減災・防災に取り組むまち

#### 【具体的な取組】

- 新しい生活様式に対応した防災訓練の実施や日頃の備えを充実させます
- 「顔見知りの関係づくり」をすすめ、いざというときに安否確認できる体制づくりに取り組みます
- 多世代が参加できる親子向け・青少年向け・地域住民向け講座等を開催し、地域全体の減災・防災の意識づくりに取り組みます





## 思いやり 助け合うまち 下倉田

振り返り 第3期計画で下倉田地区が取り組んできたこと

### 主な活動と取組

連合まつり—防犯・防災フェスティバル— (約1,000名来場)

町ぐるみで取り組む防犯・防災活動。世代を超えて自由に参加・体験、楽しく学べる場 (会場:豊田中学校)

下倉田ハートプランマスコット  
モミーちゃん



■ 防犯・防災の啓発ブース



■ ちびっこ消防士



■ 地域団体の発表



■ 模擬店

### 地区社協の活動



■ サロンはなだて  
世代間交流 (プラレール遊び)



■ なでしこ食事サービス  
高齢者会食会の弁当作り

### ホームページ開設



下倉田地区連合会 🔍 検索

■ ホームページ開設  
若い世代にもPRします!

### 見守り

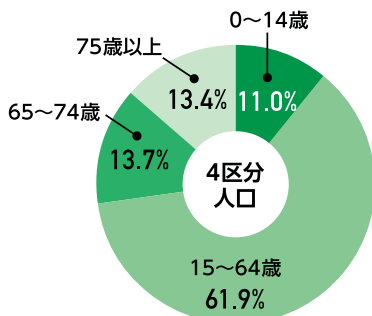


■ 青パト  
地域を見守ります

data

### 下倉田地区の現況

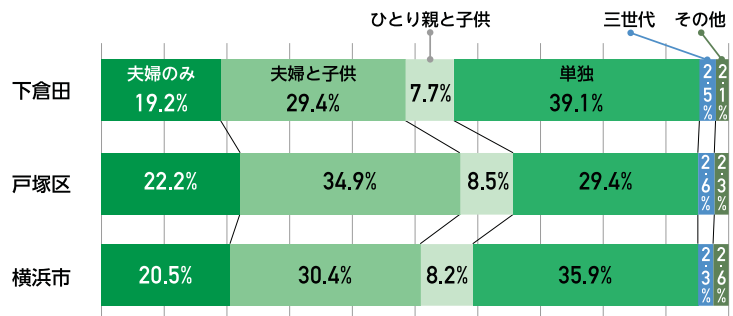
#### 年齢4区分別人口割合



下倉田地区総人口 12,636人

出典: 横浜市住民基本台帳 (令和2年9月末現在) より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典: 国勢調査データより算出 (平成27年調査)





## 第4期の目標

日頃のつながりや次の世代も意識した関わりを通して、  
平和・安全・安心な街づくりを目指します

### 目標1 必要な情報を届けることで、 参加を促す仕組みをつくります

- 地域に住む人に、「自分ごと」として届くように発信を工夫します
- ホームページ等を活用して、一緒に活動するサポーターを増やします
- 一人ひとりに負担の少ない関わりから始めます

たとえば…

連合ホームページを利用したPR、メールでの参加申し込み  
クチコミの活用、日ごろのつきあいを生かした呼びかけ

### 目標2 さまざまなつながりを生かして、 新たな仲間づくりをすすめます

- 日頃のつながりを広げて、仲間を増やす工夫をします
- 大学等と連携し、世代を超えた仲間づくりを目指します
- 「参加して楽しい」と思える仲間づくりを続けます

たとえば…

お祭りや季節のイベント、大学との連携  
連合や自治会町内会で実施している活動への参加

### 目標3 町ぐるみで防犯・防災活動に取り組みます

- 誰もが犯罪に巻き込まれないよう、みんなで注意しあいます
- 実際の避難行動につながる活動を継続・発展させます
- 単身者、高齢者、障害のある方など、それぞれの状況に応じた見守り等の取組を工夫します

たとえば…

防犯・防災フェスティバルの開催、防災マニュアルの作成  
防犯カメラの設置促進、防災ライセンスの取得

## 笑顔と挨拶で紡ぐ安心のまち 吉田矢部



### これまで吉田矢部地区が取り組んできたこと

#### ● 現在までの活動状況

- 地域の小学校・企業等の協力を得て、子どもから高齢者まで広く一緒に健民体育祭(10月)、花火大会(11月)、ボーリング大会(7月)等を恒例行事として実施しています。
- その他に部会活動として、高齢者を対象に毎月の懇話・食事会・バレーボール大会等を催し、子どもから高齢者同士の交流も盛んです。
- 町内会・自治会の個別行事として桜祭り(4月)、夏祭り(8月)、秋祭り(9月)、餅つき大会(12月)等を催し、町内会・自治会間の行き来も盛んです。

#### ● とつかハートプランの推進について

- 吉田矢部地区は第3期計画までは戸塚第三地区に属しており、第4期からのハートプランの取組が本格的なスタートになります。
- そのため「とつかハートプラン」そのものを理解し、周知するために以下の活動・取組を実施しました。

#### 地域の活動



■ 健民体育祭

子どもから高齢者まで  
広く一緒に、各種  
行事を実施



■ 秋祭り

町内会・自治会の個別  
行事はお互いの行き来も  
盛ん

#### ハートプランの推進



■ ハートプラン推進委員会

- 令和元年5月  
ハートプラン推進委員会  
設置
- 令和元年6月  
ハートプランの説明会

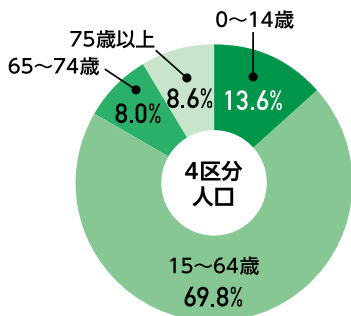


■ 地域活動のアンケート実施

町内会・自治会・各種  
部会が現在取り組んで  
いる諸活動の把握

### data 吉田矢部地区の現況

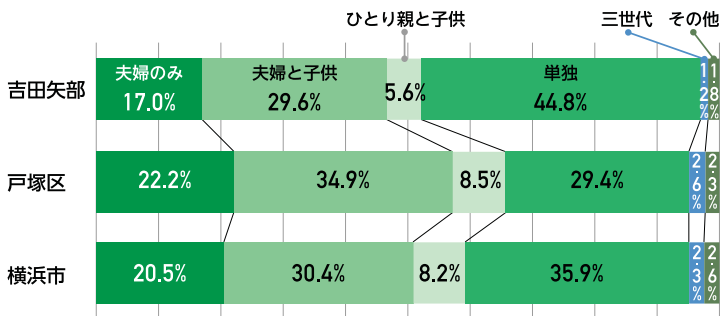
#### 年齢4区分別人口割合



吉田矢部地区総人口 13,080人

出典：横浜市住民基本台帳（令和2年9月末現在）より算出

#### 家族の類型別世帯の割合



出典：国勢調査データより算出（平成27年調査）



## 第4期の目標

これまでの活動を継続しつつ、  
これからのハートプラン取組目標を  
広く・深く・楽しく進めていきます

### 目標1 支えあいと助けあいのあるまち

見守り・支えあい

#### 【具体的な取組】

- 閉じこもりがちな高齢者等へ見守り・声かけ  
(地域ケアプラザ、民生委員・児童委員と協働)
- 子どもと高齢者の交流の機会を増やす
- ITを活用した情報共有・発信 (IT推進委員会)
- 町内会・自治会内での顔の見える関係づくり



■ 吉田矢部連合ウェブサイト

### 目標2 みんなのふれあう場のあるまち

ふれあいの場

#### 【具体的な取組】

- 地域の協力を得て「子ども食堂」や「地域食堂」の開設の実現
- 高齢者食事会・サロンの維持・継続 (人材の確保と育成)
- 地域内各種施設・機関との連携  
(小中学校、地域ケアプラザ、保育園、企業、福祉施設、区社協、区役所)
- 町内会・自治会同士や新設大型マンション等の交流の推進



■ 高齢者食事会

### 目標3 安全・安心、人にやさしいまち

安心・安全

#### 【具体的な取組】

- 地域の見守りによる防犯対策
- マンション防災の取組事例の共有・課題解決
- 災害時における要援護者等の対策 (把握とフォロー)
- 災害時における一時避難場所の確保と周知



■ 防犯研修会

### 目標4 いつまでも元気で健やかに暮らせるまち

健康づくり

#### 【具体的な取組】

- 気軽に参加できる健康づくりの場の拡大
- 連合の行事 (健民体育祭、花火大会、ボーリング等) への参加推進
- 趣味や同好会の横断的な活動を通じた外出の機会・仲間づくり
- 地域活動者の発掘・育成、シニアの活躍の場の創設



■ 子供かけっこ教室